

給湯装置を

非常時にご家庭の給湯装置を使う方法

厳しい冬の吹雪や地震などが起こった非常事態に、ご家庭の給湯システムが使えなくなることがあります。

その場合、給湯装置には30ガロン（13リットル）～80ガロン（363リットル）の溜水があり、飲料、料理、洗濯に使えるかもしれません。（タンクのない給湯装置は該当しません。）

給湯装置を操作する前に：

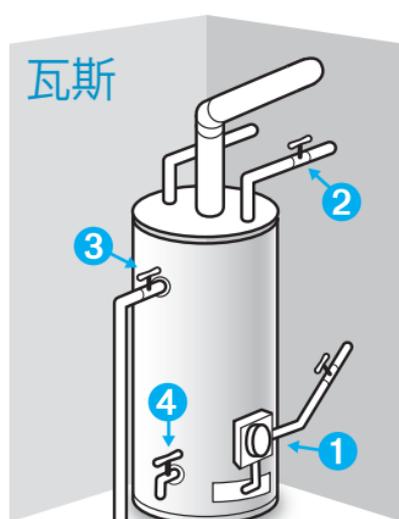
- ・ **給湯装置の場所を確認する：**給湯装置は、大体において一戸立ちでは地下や車庫に、アパートやプレファブホームではクローゼットに配置されています。
- ・ **ご家庭の給湯装置の電源を切る。：**電源を切ることにより、とくに大地震の後、その給湯機の中に確実に水が溜まることになり、その水質が損なわれたり安全でなくなるということがありません。給水バルブは非常時に閉まります。これは通常、ご家庭の地下、床下、車庫など、または基礎から離れたところに設置してあります。このバルブを使って、ご家庭の給水を止めます。

ご家庭の給湯機から水を引く方法：

① ご家庭の給湯機の電源を切ります。 給湯機の電源を切らないと安全は確保できません。懐中電灯、安全ゴーグル、手袋、スクレュードライバーを、見つけやすい所に常時備えておくことが望まれます。

- ・ **電気給湯装置の場合：**ご家庭の電源パネルにあるスイッチを正しく選んで、給湯機の電源を切ります。（前もって、間違いのないようにサーキットブレーカーを確認しておくことが望まれます。）
- ・ **天然ガス給湯装置の場合：**給湯機のオン・オフスイッチを探し、種火に設定します。完全に消さないでください。

② ご家庭の給湯機の水源を切ります ご家庭の水源バルブを探し、時計回り（右）に回して止めます。このバルブは、たいてい給湯機の頂上にあります。



裏側で3と4の過程を

③ 給湯機の中に空気を入れます。タンクの側面にあるリリースバルブを開く（ハンドルをまわし、上向きまたは外側に直立させて）またはご家庭の居間や台所にある給湯機の呑口をオンにすると、空気が入ります。空気を入れることにより、給湯機から水が出るようになります。

④ 給湯機底辺の排水バルブを探し、必要に応じて水を出します。汚れていない容器を排水バルブ呑口の下に置いて水を溜め、呑口をオンにするか、給湯機の排水バルブを左に回します。出る水は熱湯の可能性があるので、ご注意ください。手袋や安全ゴーグルを着用することが望まれます。出水を止めるときは呑口をオンにするか、右に回します。タンクが空になるまで、この過程を必要に応じて繰り返します。

飲料、食用、洗濯に使用する水はフィルターで濾過するなどの処理をします。その処理方法：

- 水を少なくとも1分間、沸騰させます。冷やして使用します。

または

- 衛生消毒をした容器に水を入れ、香料の入っていない塩素系漂白溶液で処理します。

容器の消毒に際しては、漂白溶液（4カップの水に小さじ一杯の漂白剤）を30秒間、確実にすべての内側の表面がおおわれるよう、容器を激しく振ります。その後溶液を捨てて空気乾燥をします。容器を水で一杯にし、1ガロン（4.54リットルの水に対し小さじ1/8の漂白剤を加えます）。

または：

- ご家庭の濾過器でバクテリアや寄生虫を除去します。使用前に必ず製作会社の使用上注意事項をよくお読みください。

給湯機メンテナンスにおける注意事項：

ご家庭の給湯機内の水質維持には、定期的メンテナンスが欠かせない重要な役割を果たします。

- **給湯機は壁に適切に固定し、何が起こっても壁に固定しているようにしてください。**
- **毎年一回給湯機内に残っている水は排出してください。**これを行うことにより、装置の中に溜まるゴミの量が一段と減少し、給湯機の水質を改善することになります。

本地域の水道供給協会（リージョナル・ウォーター・プロバイダー・コンソーシアム）は、ポートランド市を含むメトロ地域の水道供給の計画と管理改善のために努力する共同組織です。コンソーシアムの会員、緊急災害対策事業、水質保全、地域調整についてさらに詳しくは、以下のウェブサイトでご覧になれます。

www.regionalh2o.org

